

平成28年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第3回）議事要旨

1 日 時 平成28年7月20日（水）14:30～17:15

2 場 所 新見市役所3階 第1委員会室

3 出席者

- (1) 評価委員会 新中委員長、森口委員、杉委員
- (2) 事務局 上山課長、宮地係長、西江主査

4 議 事

(1) 平成27年度実績報告書及び財務諸表の評価等について

財務諸表及び全体評価について、各委員が評価した内容を発表し、委員会としての意見をまとめた。

また、前回の評価委員会で審議した実績報告書の内容について、事務局が報告書としてまとめた内容の確認を行った。

今回の審議結果に基づき、次回評価委員会（7月25日（月）午前10時から）で、事務局が取りまとめた報告書の内容を確認することとなった。

詳細は、以下のとおり。

委員発言要旨	取りまとめ結果
<p>[財務諸表]</p> <p>1 貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書</p> <ul style="list-style-type: none">・監査委員の意見の中で、「主な資産、負債、費用及び収益の明細について資料を作成すること」とあるように、来年度以降は明細書等何かしらの記載があっても良いと思われる。・「看護協会等の負担金」を公費で負担することについては、税務上は問題ないと思われる。また、講師の食事代も、大学として迎えたのであれば、対応も必要かと思われるため、不適切ではない。・業務活動による資金繰り（キャッシュフロー）がとても良いと思われ、健全な運営である。・剰余金の総額を大学において使えるよう市長に答申してよい。	<ul style="list-style-type: none">・承認する。・平成27年度において発生した剰余金は、大学改革と教育研究の財源として有効に活用してもらいたい。

<p>[全体評価]</p> <p>1. 事業の実施状況について</p> <p>2. 財務状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力デマンド監視装置による電気使用量の節約など、経費の節減が図られている。 ・地域福祉学科の定員割れは、昨年よりも解消されており、赤字決算にもなっていない。 <p>3. 法人のマネジメントについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長の裁量枠、傾斜配分については研究費について行われている。 <p>4. 中期計画の達成状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度計画を上回って実施している項目もある。 <p>5. 組織業務運営等に係る改善事項等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉学科の定員確保について、かなり努力をされているが、子どもの数も減っているため難しいところである。 	<p>評価【良好である】</p> <p>詳細は、全体評価実績報告書に記載のとおり</p> <p>評価【良好である】</p> <p>詳細は、全体評価実績報告書に記載のとおり</p> <p>評価【良好である】</p> <p>詳細は、全体評価実績報告書に記載のとおり</p> <p>評価【順調に進んでいる】</p> <p>詳細は、全体評価実績報告書に記載のとおり</p> <p>評価【改善事項なし】</p> <p>詳細は、全体評価実績報告書に記載のとおり</p>
<p>[評価結果]</p> <p>(1) 総合的な評定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実している施設であるが、全ての学科を4年制の大学にすれば、敷地が足りなくなるため、行政においても努力が必要である。 ・4年制大学にすることは、市の人口増加も見込まれ、良いことである。 ・地域への貢献活動を継続的に行っており、大変評価できる。 ・各種委員会もうまく機能している。 ・財務的にも健全である。 <p>(2) 中期計画の項目ごとの評定</p>	<p>評定「計画どおり進んでいる」</p> <p>詳細は、業務の実績に関する評価結果に記載のとおり</p> <p>[項目別評価]に記載のとおり。</p>

<p>[大学に関する勧告等]</p> <p>[項目別評価]</p> <p>I. 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>3 学生の確保及び支援</p> <p>1) 学生の確保</p> <p>II. 社会貢献に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>III. 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>IV. 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>V. 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>VI. その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置</p>	<p>該当なし</p> <p>【大項目評定】 3</p> <p>(項目別評価評定)</p> <p>○次のとおり修正する (修正後)</p> <p>継続して高校へ出向いて知名度アップに努めたり、障がいのある受験生の受け入れ方針策定、公募推薦入試時の併願制を導入した入試改革など、学生確保に向けた積極的な取り組みが評価できる。</p> <p>【大項目評定】 4</p> <p>・評価基準によると「3」であるが、前回の審議内容から鑑みると「4」が相当であると判断される。</p> <p>【大項目評定】 3</p> <p>【大項目評定】 3</p> <p>【大項目評定】 2</p> <p>・評価基準によると「1」であるが、前回の審議内容から鑑みると「2」が相当であると判断される。</p> <p>○次のとおり修正する (修正後)</p> <p>学報「まんさく」は充実した内容になっている。</p> <p>【大項目評定】 3</p> <p>○次のとおり修正する (修正後)</p> <p>4年制大学への改革を踏まえた施設整備計画の早急な作成を期待する。</p>
--	--

VII. 予算、収支計画及び資金計画	【大項目評定】 3
VIII. 短期借入金の限度額	【大項目評定】 3
IX. 出資等に係る不要財産又は出資等に係 る不要財産となることが見込まれる財産 がある場合には、当該財産の処分に関す る計画 ～該当なし～	※該当なし
X. 前号に規定する財産以外の重要な財産 を譲渡し、又は担保に供しようとする ときは、その計画	※該当なし
XI. 剰余金の使途	【大項目評定】 3
XII. 新見市地方独立行政法人法施行規則で 定める事項 ～該当なし～	※該当なし
[評価結果報告書]	
6 評価結果	
<p>(1) 総合的な評定（財務内容の改善につ いての欄）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「剰余金を発生させるなどの努力」を「剰 余金を発生させる努力」とする。 	<p>○次のとおり修正する。</p> <p>財務内容の改善については、科学研究 費や県の補助金採択など外部資金を獲得 しての研究や、地域福祉学科の定員割れ による収入減にもかかわらず、職員の意 識改革などによる経費の抑制により剰余 金を発生させる努力が見られた。</p>

(2) 次回開催日について

- ・平成28年7月25日（月）10時からとした。

以上